

二〇二〇年度学力試験問題の「出題意図」・「評価ポイント」・「解答例」について
国語【昼間コース 一般入試…前期日程】

出題意図

近年の社会や経済において重視されるようになった「持続可能な開発目標」(SDGs)という概念について紹介している文章からの出題となる。本文は、地域社会が抱える課題を深刻化させるもの、つまり、「レベルンジポイント」と呼ばれる難題への取り組み方を提案するものである。著者は地域社会という「生態系」の弱体化について、二つの「レベルンジポイント」を見出し、持続可能な地域づくりのために四つの生態環境を整えてゆくことの重要性を解く。出題の意図としては、一見、容易に見える文章であるが、複数のキーワードや繰り返される表現の差異を文全体の中での的確に把握することによる正確な読みを問うところにある。

評価ポイントまたは解答例

問一 一般的な評論文等で用いられる範囲の難易度の漢字について、書き取り・読み取りが正確にできていること。

問二 [解答例] A 6 B 1 C 3 D 5

問三 該当部分が示す箇所を正確に把握し、設問文の指示に従って書いていること。

問四 該当部分が示す箇所を正確に把握し、設問文の指示に従って書いていること。

問五 (一) 該当部分が示す箇所を正確に把握し、設問文の指示に従って書いていること。
(二) 文中で述べられる複数の要素を的確に要約できていること。

問六 [解答例] b d e

問題二

出題意図

古文に頻出する古語や定型的表現を理解しているか、高等学校で学習する古典文法や和歌についての知識を一定以上習得しているかを問う。また、これらを用いて、古文の文章、意味・内容（文脈・状況設定や登場人物の考え・心情など）を正確に把握できているかどうかをみる。さらに、日本古典文学史について基礎的な知識を持っているかを確認する。

評価ポイントまたは解答例

問一 古文でよく見られる古語を正しく書くことができていること。

問二 古語の語彙や定型的表現を知っていて、あるいは本文の文脈から推測して、該当の語句を正しく選び書くことができていること。

問三 古語の語彙や定型的表現を知っていて、あるいは本文の文脈から推測して、該当の語句を正しく選び書くことができていること。

問四 文学史上の知識や本文の内容から人間関係を理解し、人物名を正しく選び書くことができていること。

問五 本文の文脈から、同義の内容の言い換えを見つけ、正しく抜き書きができていること。

問六 本文の内容と該当箇所（古語・古典文法）を理解できていること。正しい現代日本語に訳すことができていること。

問七 基礎的な古語や古典文法を知っていること。作者の夫や子供への思いなど、本文の内容・文脈・状況を把握し、理解できていること。正しい現代日本語で説明できていること。

問八 『小倉百人一首』にも入っている、『蜻蛉日記』の作者が詠んだ有名な和歌をある程度知っていること。指示に従い正しく書くことができていること。

〔解答例〕 なげきつつ

問題三

出題意図

本文は、身体をめぐる我々の社会における理解の仕方とそれとは異なる社会における理解の仕方を対比しつつ、より基本的な我々の社会における人や物の捉え方の相対化を説く文章である。「譲渡不可能性」などなじみのない言葉も出ているものの、論旨は明快であり、高等学校卒業程度の基本的な国語力があれば十分に理解可能である。設問は、基本的な語彙力、筆者の主張を正確に読解した上で、受験者自身の言葉で表現できるかを問うもので構成されている。

評価ポイントまたは解答例

問一 〔解答例〕 I 4 II 1 III 2

問二 該当部分が示す箇所を正確に把握し、設問文の指示に従って書けていること。

問三 該当部分が示す箇所を正確に把握し、適切な設例を選択できていること。

問四 該当部分が示す箇所を正確に把握し、設問文の指示に従って書けていること。

問五 該当部分が示す箇所を正確に把握し、設問文の指示に従って書けていること。

問六 該当部分が示す箇所を正確に把握し、設問文の指示に従って書けていること。

問題 四

出題意図

本文は、古代中国において「公」と「私」の問題を論じた著名な文章である。文章は簡潔かつ平易でありながら、思想的な内容と挿話を織りまぜており、高等学校で学習した漢語・漢文の能力を用いて十分に理解できる内容である。問題では、本文に関わる漢語や漢文についての知識、漢文の語法への理解度を確認するとともに、内容に即して議論の意図を正しく読み解けているかを問うた。

評価ポイントまたは解答例

問一 [解答例] ① イ ② エ ③ ア

問二 [解答例] A 外 B 子 C 公

問三 本文の内容を理解した上で、漢文の語法にしたがい、該当箇所を正しく読み下せていること。

問四 本文全体を読み解き、内容に即して議論の意図を読み取り、該当箇所を正しい日本語に訳せていること。

問五 本文に関わる漢語・漢文についての知識があり、正しく漢字で書けていること。

問六 (1) 問題文の内容に即して議論の意図を正しく読み解き、空欄にあてはまる最も適切な語を答えられていること。

(2) 問題文全体を読み解き、内容に即して議論の意図を読み取り、該当箇所を正しい日本語に訳せていること。